

**MDC-50AS マルチデバイスコントローラ**  
**取り扱い説明書**

(Ver.S0120)

武蔵株式会社  
平成 17 年 07 月 21 日



## 目次

1. 概要
2. 特徴
3. パネル各部の機能
  - ① 7セグメント LED 表示部
  - ② LED 表示切替スイッチ/制御ポート切替スイッチ
  - ③ 液晶表示部
  - ④ 各種スイッチ部
  - ⑤ テンキー部
  - ⑥ 制御ポート切替スイッチ
4. 背面パネル各部の名称
5. 機能と操作方法
  - 5.1 CUE 操作方法
    - 5.1.1 CUE の登録
    - 5.1.2 CUE の呼び出し
    - 5.1.3 CUE の修正
    - 5.1.4 CUE の消去
    - 5.1.5 CUE の SAVE
  - 5.2 GOTO 機能
  - 5.3 TML 機能
  - 5.4 複数台の同時 記録再生 操作方法
  - 5.5 簡易編集機能 操作方法
6. GPI 機能と操作方法
  - 6.1 機能説明と設定方法
  - 6.2 G P I ピンアサイン詳細
  - 6.3 設定例
7. メニュー設定及び操作方法
  - 7.1 メニューの操作方法
  - 7.2 メニュー一覧
  - 7.3 エラー表示
- 8.仕様詳細
- 9.外形寸法

## MDC-50AS マルチデバイスコントローラ

### 1.概要

MDC-50AS は、VTR のリモートコントロールを行なう装置です。

PLAY/ STOP/REC/ST-BY/JOG/SHUTTLE 等の制御を RS-422 により行ないます。

制御ポートは4ポートあり、切替により4台のVTRを制御できます。

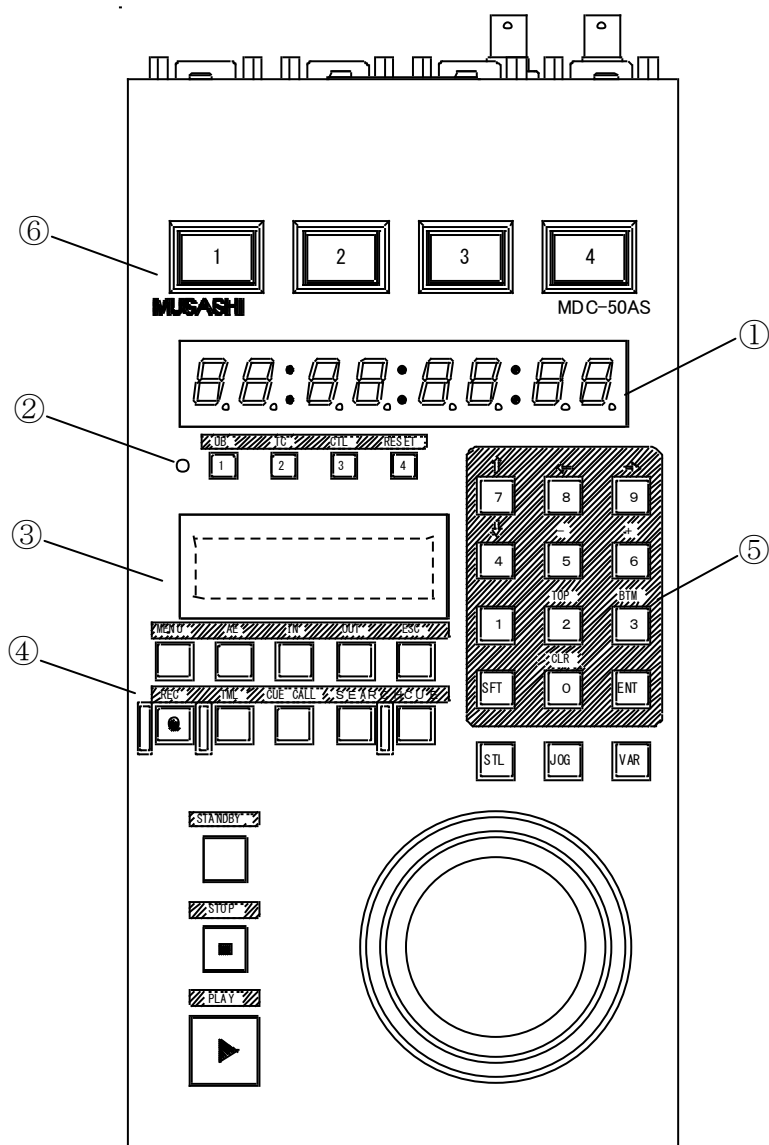
JOG/SHUTTLE ダイアルを備え編集点の確認等が容易に行なえます。

また、タイムコードを利用した CUE 登録が可能で迅速な番組の頭出しが可能です。

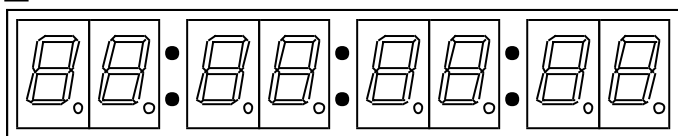
### 2.特徴

- 見やすい7セグメント LED TC、UB、CTL の表示
- 簡単な CUE 登録と CUEUP 操作
- 4ポートを切り替えて制御できます。
- 1ポートあたり CUE MODE 1 700個, CUE MODE 2 90個, TML MODE 700個の CUE 登録が可能です。
- テンキーによるタイムコードをダイレクトに打ち込みが可能
- 同時 REC/ PLAY/CUE UP が可能 (※調相はしていません。)
- 液晶表示によるメニューで多彩な機能を実現。
- JOG/SHUTTLE ダイアルを備え CUE 点の確認等が容易
- GPI を備え外部から PLAY/STOP/REC させることが可能です。

### 3. パネル各部の機能



## ① 7セグメント LED 表示部



8桁の7セグ赤色LEDを配置し、RS-422にて読み取った現在値のUB、TC、CTLの各データを切替により表示します。

切替は表示器の下に配置されたスイッチで行ないます。

CTL表示時は、RESETスイッチを押すことにより0リセットされます。

また、メニュー”C00B1:CTL DSOMOD”により24H/12H表示の切替が出来ます。

TCの設定(VITC,LTC,AUTO)は、VTRの設定によります。

### ②-1 LED表示切替スイッチ/制御ポート切替スイッチ



LED表示部の表示内容を変更します。UB表示、TC表示、CTL表示の各スイッチとCTL表示時のRESETスイッチの4つスイッチがあります。

また、本スイッチは制御ポート切替えスイッチと兼用している為、SFTスイッチを押すと制御ポート切替えが可能になります。

<表示の切替>

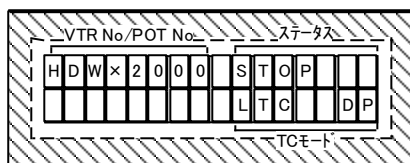
通常表示の時、“LED表示切替えスイッチ”と“制御ポート切替えスイッチ”の表示の切替えが可能です。

メニュー一覧のCONSOL-SelSwModを参照して下さい。

### ②-2 リセットスイッチ

- ハードリセットをするときに押下します。

## ③ 液晶表示部



16桁2行のバックライト付き液晶表示器を使用し、メニュー、ステータス、入力データ等の表示を行ないます。

#### ④ 各種スイッチ部

##### ④-1 メニュースイッチ



本スイッチ点灯中はメニューモードとなり、液晶表示にメニューが表示されます。再度押すと通常モードになります。

##### ④-2 AE スイッチ

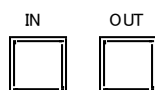


本スイッチ点灯中は簡易編集モードとなり、簡易編集が可能です。

再度押すと通常モードになります。

簡易編集の操作方法は、5. 5項を参照して下さい。

##### ④-3 IN スイッチ/OUT スイッチ



本スイッチは、簡易編集モードとTMLモードの時のTC（またはCTL）データを登録するスイッチです。

本スイッチ点灯時は、TCデータが一時的に登録されます。再度押すと押した時間が再登録されます。

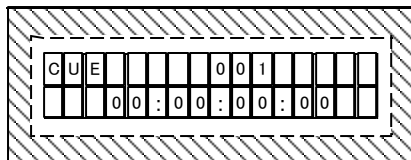
##### ④-4 ESC スイッチ



メニュー操作時に現在入力中のモードを解除し、1つ前の状態に移行します。

各モードをぬけるときに使用します。

#### ④-5 CUE スイッチと CUE CALL スイッチ



CUE スイッチ…CUE を登録するボタンです。

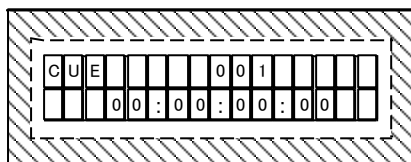
CUE スイッチを押すと CUE が登録され液晶表示部で確認する事が可能です。

CUE CALL スイッチ…本スイッチ点灯中は CUE モードです。

CUE スイッチを押すと自動的に点灯して CUE モードに入ります。再度、本スイッチを押すと通常モードになります。

※ 詳細はCUE操作方法を参照して下さい。

#### ④-6 SEARCH スイッチ



SEARCH



液晶表示器に表示したTCデータへの頭出しをが可能です。

#### ④-7 TML スイッチ



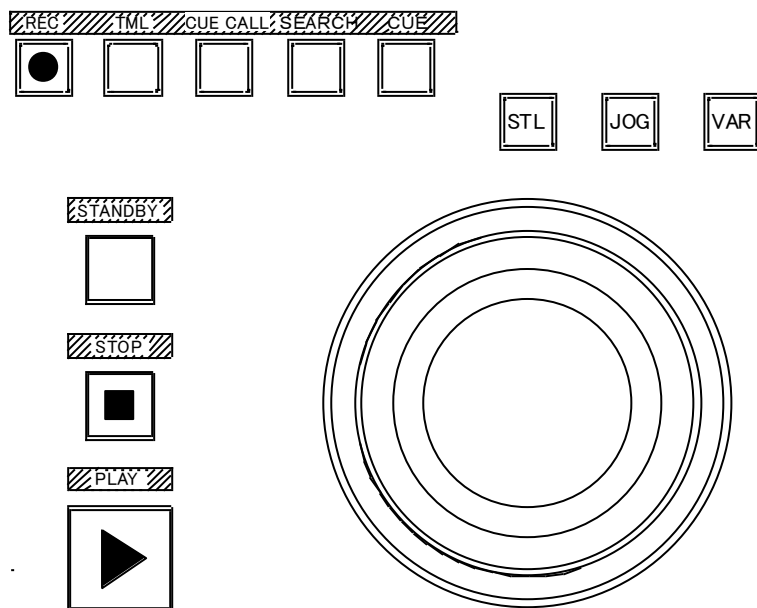
本スイッチ点灯中は、TML モードになります。

TML モードとはIN/OUTスイッチで登録したTCデータの間を再生します。

※ 詳細はTML機能を参照して下さい。



#### ④-8 REC、STOP、PLAY、STANDBY、VAR、JOG、STL、各スイッチ部



##### **STANDBY** スイッチ

スタンバイ制御を行ないます。

ST-BY スイッチを押すと ST-BY ON になります。

SHIFT+ST-BY スイッチを押すと ST-BY OFF になります。

また、メニュー”S00B8:StbySwMod”により、ST-BY スイッチを押す度に ON/OFF（トグル動作）させることが可能です。

##### **REC** スイッチ

REC+PLAY で REC を開始します。

本スイッチのみ押下すると E Eモードになります。

##### **STOP** スイッチ

STOP 動作します。

制御ポート切替スイッチ+STOP で VTR のテープを EJECT することが可能です。（VTRのみ）

※EJECTを使用する場合はMENUのPortSelに設定することを推奨します。

##### **PLAY** スイッチ

PLAY を開始します。

### VAR/JOG/STL スイッチ

VAR、JOG、STL は、ジョグ/シャトルダイヤルの動作モードを決め、ダイヤルの操作により VTR を制御します。

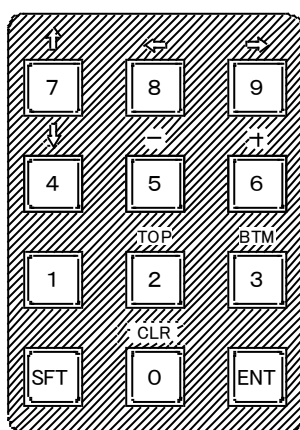
メニューにより禁止がかけられます。(メニューJog/ShtiDis)

### JOG/SHUTTLE ダイアル

JOG、SHUTTLE、VAR、の各制御を行ないます。ダイヤルを押すことにより JOG/SHUTTLE の切替えは、スイッチ操作無しでも行なえます。

メニューにより禁止がかけられます。(メニューJog/ShtiDis)

### ⑤ テンキー部



数値データの入力、CUE 点の呼び出し、メニュー時の操作、等の機能を有します。通常は、ボタンに表示されているものが有効になります。SHIFT ボタンを押すとボタン上部に表示されているものが有効になります。

※MENU/AE/CUE/TML モード時は SHIFT 状態が保持されます。もう一度 SHIFT ボタンを押すと解除されます。

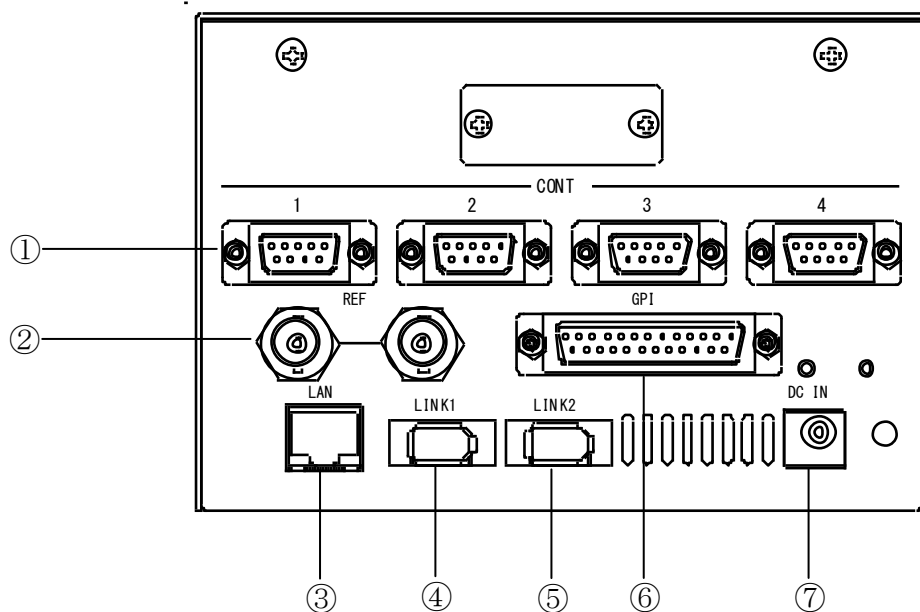
### ⑥ 制御ポート切替スイッチ



本スイッチを押すことにより制御ポートを切替えることができます。

制御ポート切替スイッチは②-1 の制御ポート切替スイッチと同様の動作をします。

#### 4. 背面パネル各部の名称



- ① CONT (Dsb9F 座コネクタ) × 4  
RS-422 制御 VTR と接続します。
- ② REF (BNC コネクタ)  
NTSC 同期信号を入力します。(ループスルー付き)
- ③ LAN (RJ45 用モジュラーコネクタ)  
パソコンと接続してバージョンアップ等に使用します。
- ④⑤ LINK1/LINK2  
未使用
- ⑥ GPI (Dsb25F 座コネクタ)  
メニューにより設定します。
- ⑦ DC IN  
DC 電源を接続します。  
故障の原因となりますので専用の AC アダプターを使用して下さい

## 5. 機能と操作方法

### 5. 1 CUE 操作方法

VTR などのタイムコードを MDC-50AS に記憶させ、頭出しを行なうことが可能です。

(以後 CUE と呼ぶ) 登録方式として下記 2 つの方式がありメニューの設定により切替が可能です。※設定はメニュー一覧の CONSOLE-DefCeuModeSel を参照して下さい。

**MODE1**…CUE ボタンを押下すると CUE が登録されます。(各ポート 700 個)

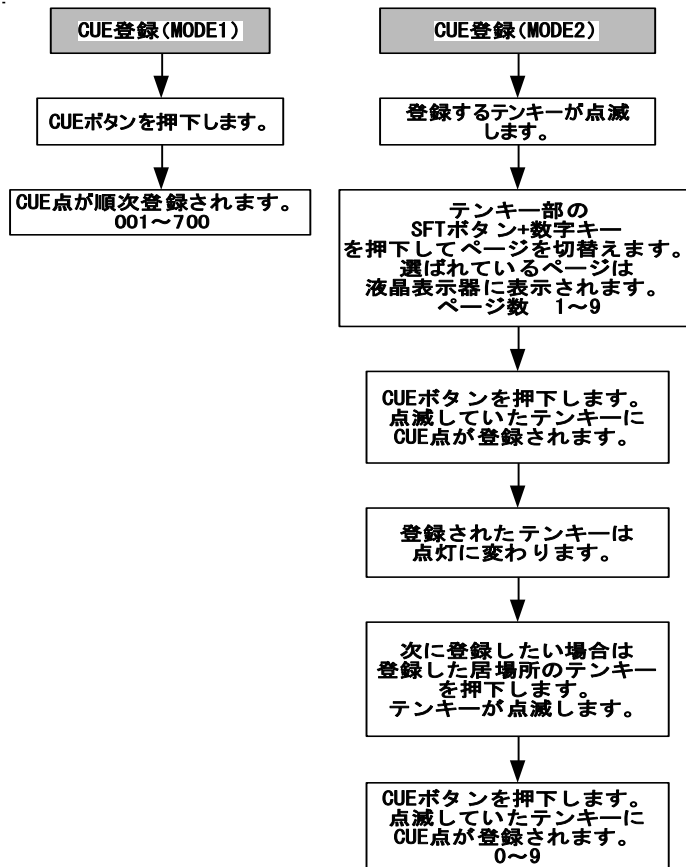
**MODE2**…CUE をテンキーに登録することが出来ます。また、SFT+テンキー

(1 から 9) でページを切替えることが出来ます。

(各ポート 90 個) ページ表示は、液晶表示部に表示されます。

#### 5. 1. 1 CUE の登録

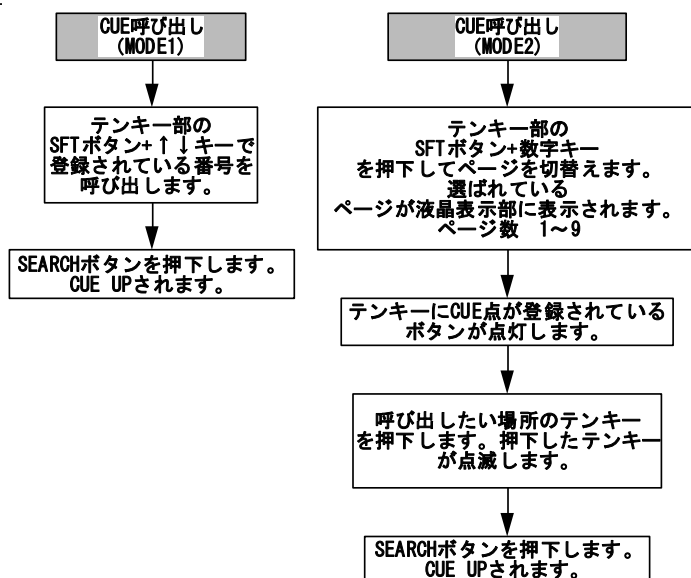
VTR を REC または、PLAY させ CUE 点を登録させます。CUE ボタンを押下すると CUE 点が登録され、CUE モードに入ります。CUE モードに入ると CUE CALL ボタンが点灯します。CUE モードを出る場合は、ESC ボタンを押下するか CUE CALL ボタンを押下して下さい。他のモードに入る場合は、必ず CUE モードを出てから他のモードに入ってください。



### 5. 1. 2 CUE の呼び出し

CUE の呼び出しは、SEARCH ボタンで呼び出す方法と、テンキーの SFT+ ←/→ でも SEARCH ボタン同様 CUE の呼び出しが可能です。(メニュー設定による)

※CUE モードに入ると SFT キーが保持されます。



### 5. 1. 3 CUE の削除

CUE データが登録されているテンキーを押すと液晶ディスプレイ上に登録されたデータ(TC)が表示されます。その時点で SHIFT を押しながら 0 (CLR) ボタンを押すとそのデータが削除されます。

### 5. 1. 4 CUE の修正

修正したい CUE 点を CUE UP します。PLAY 側を選択して、JOG/SHTL 等を使って CUE 点を探します。CUE 点が決まったら SHIFT+CUE ボタンを押下します。CUE 点が修正されます。

※CUE モードに入っている時は、SFT ボタンが点灯し保持されています。

CUE の修正を行なう場合は、SFT ボタンが点灯していても SFT ボタンを押下しながら CUE ボタンを押下してください。

※メニューの CueInsMod”設定が OVW になっているときのみ上書きが可能です。

※Mod1 の時 CueInsMod を参照して下さい。

※Mod2 の時 CueAutoIns を参照して下さい。

### 5. 1. 5 CUE の SAVE

電源を切る場合登録した CUE 点等をセーブして残しておきたいときは、電源を切る前にメニューのデータセーブに入ってセーブ作業をして下さい。

※設定はメニュー一覧の **CONSOLE** の **SaveEve&Cue** で行って下さい。

### 5. 2 GOTO 機能

テンキーでタイムコードを打ち込み **SEARCH** ボタンを押すとそのタイムコードの位置に頭出しします。

※**CUE MODE** に入っていないことを確認して下さい。

### 5. 3 TML 機能

CUE 点を IN 点と OUT 点で登録するモードです。

VTR を REC または、PLAY などさせ CUE 点 IN/OUT を登録させます。TML ボタンを押下すると TML モードに入ります。IN/OUT ボタンを押下し、IN 点と OUT 点を決め ENT ボタンで決定します。TML モードを出る場合は、ESC ボタンを押下するか TML ボタンを押下してください。他のモードに入る場合は、必ず TML モードを出てから他のモードに入ってください。再生は、テンキーの↑/↓で CUE 点を呼び出し、SEARCH ボタンで CUE UP し、PLAY ボタンで IN 点から OUT 点まで再生します。

※IN 点から OUT 点までの再生は **PLAY** ボタンを押した時のみになります。

**VAR/JOG/STL** では OUT 点で止まりません。

※IN/OUT 登録機能など OUT 点で STOP させる機能を利用される場合は、本機に REF を入力して下さい。REF が無いと停止位置がずれる場合があります。また、422 メニューの "StopTmg" と "StillTmg" を調整して、OUT 点ジャストで停止する様にして下さい。

"StopTmg"は、"StopCmdSel" が "Stop" の設定の場合に関係します。

"StillTmg"は、"StopCmdSel" が "Stop"以外の設定の場合に関係します。

なお、"StillTmg"は、"StopCmdSel" を "SHTL～"、"JOG～"、"VAR～"、と変更した場合は設定しなおす必要があります。(大体の VTR は同じで済むと思います)

※テンキー「←」ボタンで IN に CUE UP 「→」ボタンで OUT に CUE UP します。(MENU 設定 lf/RtCupEna を参照して下さい。)

#### 5. 4 同時記録再生機能

メニューの設定をすることにより、設定されたポートが同時に REC/PLAY/CUE UP します。ポートの選択方法は、ポート選択ボタンで同時動作させたいポートを選択（点灯）させ、REC/PLAY/CUE UP の操作を行ないます。



メインメニュー**CONSOLE** の”**PoartCtMode**”を”**ParaSel**”に設定します。

**PORT** ボタン5秒押下してマスターになる **VTR** を選択します。

選択した **PORT** ボタンが点滅します。

同時に **REC/PLAY/CUE UP** させたい **VTR** の **PORT** 選択ボタンを押下します。選択したボタンが点灯します。

**REC/PLAY/CUE UP** 操作を行なうと選択された **VTR** が同時に動作を開始します。

基本操作は、前に記載している操作と同じです。

**CUE UP** に関して、メインメニュー**CONSOLE** の”**ParaSchMod**”で、マスターのタイムコードで一斉 **CUE UP** するか、あらかじめ各ポートで登録している **CUE** 点を **CUE** 番号で一斉 **CUE UP** するか設定できます。

※このモードを使用するときは、**REF** を入れてください。

## 5. 5 簡易編集機能 操作方法

### • EDIT 方法

2 台の VTR を使って編集を行なうときに使用します。

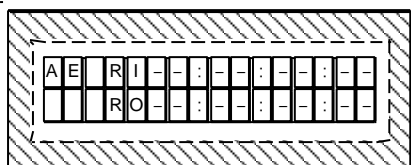
### • VTR 同士の編集

メニューにより RS422 ポートの REC/PLYA の設定を行ないます。

AE ボタンを押下し点灯させ編集モードに入ります。

ポートセレクトボタンで REC を選択します。

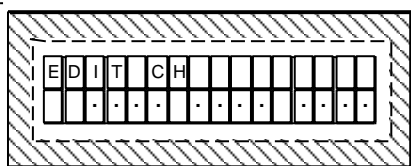
液晶表示に



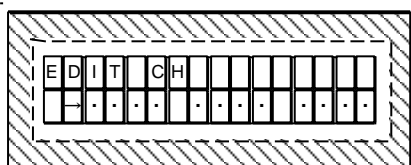
と表示されます。

IN/OUT ボタンで IN 点と OUT 点を決めます。

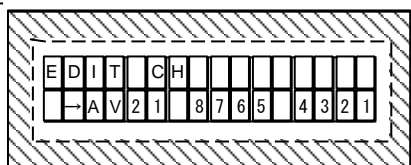
SFT+ ↓キーで EDIT CH が表示されます。



SFT+ ←→キーで液晶表示機の矢印が出て移動します。



SFT+ +-キーでアッセンブルモード編集するかインサートモード編集で編集するかを選択します。



A . . . アッセンブル編集

V . . . VIDEO (インサート編集)

2 . . . AUDIO CH2

1 . . . AUDIO CH1



8 . . . DA8CH

7 . . . DA7CH

6 . . . DA6CH

5 . . . DA5CH

4 . . . DA4CH

3 . . . DA3CH

2 . . . DA2CH

1 . . . DA1CH

同様に、ポートセレクトボタンで **PLAY** を選択して **IN/OUT** ボタンで **IN** 点と **OUT** 点を決めます。

**REC** ボタンを押下するとプレビューします。

**SFT+ REC** ボタンで **EDIT** を開始します。

**SFT+ PLAY** ボタンでレビューします。

**EDIT** モードを抜ける場合はもう一度 **AE** ボタンを押下してボタンを消灯させて下さい。

※**VTR** で編集を行なう場合メニュー**RS-422 PORT** の**"EdtPrsStsLen"**を **2** にしてください。

※**VTR** 側のオートエディット機能は使用していません。

## 6. GPI機能と操作方法

### 6.1 機能説明

本機は、GPIの機能を設定する事が可能です。GPI端子は入力8Bitと出力8Bitあり入力に対してはPLAY/STOP/REC/FF/FRを割り付ける事が可能です。同様に出力についても設定する事が可能です。

又OA INHI機能も装備していますので、OAが来ている時、特定のスイッチの操作を効かなくする事も可能です。

### 6.2 ピンアサイン詳細

GPI IF (Dsub 25pin メス座)

1	NC	
2	NC	
3	OUT1	ポート2 "OutLw-Ptn"の設定による
4	OUT3	ポート4 "OutLw-Ptn"の設定による
5	OUT5	ポート2 "OutHi-Ptn"の設定による
6	OUT7	ポート4 "OutHi-Ptn"の設定による
7	GND	
8	GND	
9	IN1	ポート2 "Inp1-LwPtn"の設定による
10	IN3	ポート4 "Inp1-LwPtn"の設定による
11	IN5	ポート2 "Inp1-HiPtn"の設定による
12	IN7	ポート4 "Inp1-HiPtn"の設定による
13	NC	
14	NC	
15	OUT0	ポート1 "OutLw-Ptn"の設定による
16	OUT2	ポート3 "OutLw-Ptn"の設定による
17	OUT4	ポート1 "OutHi-Ptn"の設定による
18	OUT6	ポート3 "OutHi-Ptn"の設定による
19	GND	
20	GND	
21	IN0	ポート1 "Inp1-LwPtn"の設定による
22	IN2	ポート3 "Inp1-LwPtn"の設定による
23	IN4	ポート1 "Inp1-HiPtn"の設定による
24	IN6	ポート3 "Inp1-HiPtn"の設定による
25	NC	

## 6. 3 設定方法詳細

### 入出力ピンの設定

本機の GPI 入出力は、それぞれ機能を設定する事が可能です。設定は上位 4 Bit と下位 4 Bit の入出力 Pin の機能を割り当てる事により実現可能です。

### 入力ピン設定方法詳細

上位 4 Bit と下位 4 Bit の入力の設定は下記設定が可能です。

※メニューの”GPI”の”InpLw”と”InpHi”で設定可能です。

出力は”OutLw””InpHi”で設定を行って下さい。

設定は下記に示す様に 8 パターン各々設定が可能です。

#### Disable

IN 0～3 の GPI 入力を禁止します。

#### OA-C

IN 0～3 がポート 1～4 に対して OA INHI 設定されます。

#### STOP-C

IN 0～3 がポート 1～4 に対して STOP 設定されます。

#### PLAY-C

IN 0～3 がポート 1～4 に対して PLAY 設定されます。

#### REC-C

IN 0～3 がポート 1～4 に対して REC 設定されます。

#### REM1-C

IN 0～3 の各 BIT に機能の割付が可能です。この時ポートは 1 に固定します。

#### REM2-C

IN 0～3 の各 BIT に機能の割付が可能です。この時ポートは 2 に固定します。

#### REM3-C

IN 0～3 の各 BIT に機能の割付が可能です。この時ポートは 3 に固定します。

#### REM4-C

IN 0～3 の各 BIT に機能の割付が可能です。この時ポートは 4 に固定します。

### ※REM 機能の割付

上記 REM1-4 の設定に対する各 Bit の割付を下記に示す。

IN0 STOP

IN1 PLAY

IN2 FR

IN3 FF

※同様に IN4-7 の設定も可能です。

※同様に出力ピンの設定も可能です。

## OA INHI 機能

GPIに入力が入った時下記のスイッチが操作出来なくなります。

※OA INHI を使用するときは、メインメニューConsole の"OA-Inhi"を ON にしてください。

### OA 中に効かないボタン一覧

・ REC
・ PLAY
・ STOP
・ STANDBAY
・ JOG ダイアル
・ VAR
・ JOG
・ STL
・ SEARCH
・ AE/IN/OUT

その他の操作は可能です。

※OA が来ているときに CUE の登録はできますが、**CUE UP 制御**はできません。

TC 表示切替は可能です。

## 7. メニューの設定及び操作方法

### 7. 1 メニューの操作方法



メニューモードに入るスイッチです。再度押下するとメニューモードが解除されます。

※**CUE MODE**に入っているときは**MENU**ボタンを押下してもメニューに入れません。**ESC** ボタンで **CUE MODE** を抜けてから **MENU** ボタンを押下して下さい。

メニューの操作はテンキー部の **SFT** ボタン+↑/↓ (項目移動)  
←/→ (カーソル移動) +/− (設定移動) キーを使用してメニューの移動と変更を行ないます。**MENU** ボタンを押下すると **SHIFT** ボタンが点灯し **SHIFT** 状態が保持されます。もう一度 **SHIFT** ボタンを押下すると解除されます。次に **SHIFT** ボタンを押下すると、**SHIFT** 状態が保持されます。

#### メインメニュー

- >CONSOLE
- >RS-422 PORT
- >GPI
- >LAN/LINK
- >SYSTEM
- >EXTENSION-1(ディスクソフトのみ表示)

**SFT** ボタン+↑/↓ (項目移動)で項目を移動して **ENT** ボタンを押下します。  
メインメニューからサブメニューに移ります。(メニュー一覧参照)  
サブメニューに入り **SFT** ボタン+↑/↓ (項目移動) で項目を移動し、  
+/− (設定移動) ボタンで設定を移動します。 **ENT** ボタンを押して設定変更します。

## 7.2 メニュー一覧

先頭が"\$~"となっている項目は、その変更を有効にするには、電源再投入の必要があります

\*\*\*は、デフォルト設定です。

項目名	サブ項目	設定
CONSOLE	SaveEve&Cue	<b>NoSave</b> 保存しない。 <b>Save</b> 保存する。 登録した CUE 点を保存する/しないの設定
	EraseEve&Cue	<b>NoErase</b> 削除しない <b>AREA-A</b> ポート 1 を削除する。 <b>AREA-B</b> ポート 2 を削除する。 <b>AREA-C</b> ポート 3 を削除する。 <b>AREA-D</b> ポート 4 を削除する。 <b>ALL</b> すべてのポートを削除する。 登録した CUE 点を削除する設定
	OA-Inhi	<b>OFF</b> OA 中でも操作 (制御) が可能です。 <b>*ON</b> OA 中、操作 (制御) を禁止します。 GPI を使って OA 中の操作を ON/OFF します。
	Preroll	<b>00:00</b> CUE UP 時のプリロール時間を設定します。 ←/→でカーソルの移動 +/-で時間変更 00:00~59:29 まで
	\$DefCueModeSel	<b>Mode1</b> 通常 CUE 登録 <b>*Mode2</b> テンキーボタンに割り当て登録 起動時の CUE MODE 選択状態を設定します。
	CueInsMod	<b>APEND</b> CUE 登録したときに最後に登録されます <b>*INS</b> 呼び出した CUE の前に登録されます。 <b>*OVW</b> 呼び出した CUE に上書きされます。 CUE を呼び出した後の CUE 登録動作の選択をします。
	AutoCueup	<b>DISABLE</b> 機能しない。 <b>*ENABLE</b> 機能する。 CUE を呼び出したときに SEARCH ボタンを押さなくても CUE UP するかを選択します。
	CueAutoInc	<b>*DISABLE</b> 上書き登録 <b>Inc</b> 上書き登録後、次に進みます。 <b>*Search</b> 次の空きを探して登録します。 CUE MODE 2 選択時に、CUE 登録割り当ての方法を設定します。
	AfterCueup	<b>DISABLE</b> StopComdSel で設定した状態になります <b>*JogDial</b> JOG 状態になります。 <b>*ShtDial</b> SHTL 状態になります。 <b>*VarDial</b> VAR 状態になります。 CUE UP 後の状態設定。
	SchEnaMod	<b>Normal</b> Rec 中は CUE UP 禁止 <b>*Rec</b> Rec 中でも強制 Cueup 許可 Rec 中に CUE UP させるかの設定

項目メニュー	サブ項目	設定
CONSOLE	ParaSchMod	<b>Tc</b> マスターPort の Tc 値 で 一斉 Cueup * <b>CueNo</b> マスターPort の Cue 番号で (各 Port の Bank 別の同 Cue 番号 Tc 値で) 一斉 Cueup ParaSel モード使用時の CUE UP 方法の設定
	CtlDspMod	<b>24H</b> 24H表示します。 * <b>12H</b> ±12H表示します。 CTL カウントを 24 時間表示にするか 12 時間表示にするかを選択します。
	CtlRstsetMod	<b>CmdSend</b> CTL RESET コマンドを送信し、 デバイスの CTL 表示と MDC の表示をリセットします。 * <b>Emu</b> MDC の表示のみを 0 リセットします。 (デバイスの CTL はリセットされません。) CTL Reset の方法
	CtlPresetTc	<b>00:00:00:00~23:59:59:29(Def=00:00:00:00)</b> CTL Reset 時の PresetTc. <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 但し "CtlResetMod" の設定に依存.</li> <li>・ "CmdSend": コマンド送信でプリセット.</li> <li>・ "Emu": MDC50AS 内部計算で見かけ上のプリセット</li> </ul>
	SelSwMod	<b>TcTypeSel</b> 通常 TC 切替えします。 * <b>PortSel</b> 通常ポート切替えします。 2-2 項 LED 表示切替スイッチ/制御ポート切替スイッチの切替を通常 LED 表示切替えるか制御ポートを通常切替えるかを選択します。
	StbySwMod	<b>ON</b> OFF するときは SHIFT+ST-BY スイッチで ST-BY OFF になります。 * <b>ON/OFF</b> ON/OFF が ST-BY スイッチでトグル動作になります。 ST-BY スイッチの動作を選択します。
	Lf/RtCupEna	* <b>DISABLE</b> 機能しない。 <b>ENABLE</b> 機能する。 テンキー部の左右矢印キーで CUE UP させるか、させないかの設定。
	PushDis	<b>Normal</b> すべて機能します。 * <b>Push</b> JOG ダイアルのプッシュを無効にする。 * <b>All</b> すべて機能しない。 JOG ダイアルのプッシュで JOG/SHTL 及び JOG/SHTL ボタンの切替えの ON/OFF の設定します。
	SpdOpeChgMod Pt1	<b>Normal</b> 状態が繁荣されます。 * <b>Mode1</b> 状態が解除されます。 ポート 1 の VTR 等を単体で操作したとき MDC-50AS の SHTL/JOG/VAR 選択状態設定します。

項目メモ	サブ項目	設定
CONSOLE	SpdOpeChgMod Pt2	<b>Normal</b> 状態が繁栄されます。 * <b>Mode1</b> 状態が解除されます。 ポート2のVTR等を単体で操作したときMDC-50ASのSHTL/JOG/VAR選択状態設定します。
	SpdOpeChgMod Pt3	<b>Normal</b> 状態が繁栄されます。 * <b>Mode1</b> 状態が解除されます。 ポート3のVTR等を単体で操作したときMDC-50ASのSHTL/JOG/VAR選択状態設定します。
	SpdOpeChgMod Pt4	<b>Normal</b> 状態が繁栄されます。 * <b>Mode1</b> 状態が解除されます。 ポート4のVTR等を単体で操作したときMDC-50ASのSHTL/JOG/VAR選択状態設定します。
	RecStopMod	<b>Normal</b> Stopボタンで停止。 * <b>Sft&amp;Stop</b> Sft+ Stopボタンで停止。 Recの停止操作方法を設定します。
	PoartCtlMode	<b>Normal</b> VTRの制御を行ないます。 * <b>ParaSel</b> VTRソフト使用時のSYNC REC/PLAY/CUE UPを行ないます。 * <b>Coupling</b> ディスクレコーダーの撮って出しを行ないます。 ※Couplingはディスクソフト使用時のみ設定できます。
	P1EvCueArea	<b>AREA-A</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-B</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-C</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-D</b> (CUEエリア700個) ポート1のCUEデータの保管エリアを設定します (CUE MODE1)
	P2EvCueArea	* <b>AREA-A</b> (CUEエリア700個) <b>AREA-B</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-C</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-D</b> (CUEエリア700個) ポート2のCUEデータの保管エリアを設定します。(CUE MODE1)
	P3EvCueArea	* <b>AREA-A</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-B</b> (CUEエリア700個) <b>AREA-C</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-D</b> (CUEエリア700個) ポート3のCUEデータの保管エリアを設定します。(MODE1)
	P4EvCueArea	* <b>AREA-A</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-B</b> (CUEエリア700個) * <b>AREA-C</b> (CUEエリア700個) <b>AREA-D</b> (CUEエリア700個) ポート4のCUEデータの保管エリアを設定します。(CUE MODE1)



項目メモ	サブ項目	設定
CONSOLE	P1FlistArea	<b>AREA-A</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-B</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-C</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-D</b> (CUE エリア 700 個) ポート 1 の File List の保管エリアを設定します。 (TML MODE)
	P2FlistArea	* <b>AREA-A</b> (CUE エリア 700 個) <b>AREA-B</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-C</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-D</b> (CUE エリア 700 個) ポート 2 の File List の保管エリアを設定します。 (TML MODE)
	P3FlistArea	* <b>AREA-A</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-B</b> (CUE エリア 700 個) <b>AREA-C</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-D</b> (CUE エリア 700 個) ポート 3 の File List の保管エリアを設定します。 (TML MODE)
	P4FlistArea	* <b>AREA-A</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-B</b> (CUE エリア 700 個) * <b>AREA-C</b> (CUE エリア 700 個) <b>AREA-D</b> (CUE エリア 700 個) ポート 4 の File List の保管エリアを設定します。 (TML MODE)
	AE PreRolSec	"3~60 sec" (Def=5) 簡易編集機能での プリロール指定
	AE PstRolSec	"0~60 sec" (Def=5) 簡易編集機能での ポストロール指定
	AE Rec Port	<b>Port1</b> * <b>Port2</b> * <b>Port3</b> * <b>Port4</b> 簡易編集機能での Rec ポート選択
	AE Play Port	* <b>Disable</b> * <b>Port1</b> <b>Port2</b> * <b>Port3</b> * <b>Port4</b> 簡易編集機能での Play ポート選択
	P1RecFno	"0000~9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
	P2RecFno	"0000~9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
	P3RecFno	"0000~9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ

項目名	サブ項目	設定
CONSOLE	P4RecFno	"0000~9999"(Def=0000) 収録 File 番号 設定 ※ディスクソフト使用時のみ
	\$PnlMode	<b>Normal</b> MDC-50T 標準機能 * <b>Mode1</b> パネルモード 1(操作パネル全部を他局に解放) * <b>Mode2</b> パネルモード 2(TC7SEG 表示と Dial と J/S/V のみ自身で制御) 外部(PC)から制御を行なうときに使用します。 ※通常は設定を変えないでください。
	InitConfig	<b>NoInit</b> デフォルトしません。 * <b>Port1</b> ポート 1 をデフォルトします。 * <b>Port2</b> ポート 2 をデフォルトします。 * <b>Port3</b> ポート 3 をデフォルトします。 * <b>Port4</b> ポート 4 をデフォルトします。 * <b>System</b> システムをデフォルトします。 * <b>ALL</b> すべてデフォルトします。 ポート 1,2,3,4 は RS-422 メニューの Config をデフォルトにします。System は RS-422 以外の Config をデフォルトにします。
	#CfgBnkLd	<b>Non</b> バンク呼び出しをしません。 * <b>Bank1</b> バンク 1 を呼び出します。 * <b>Bank2</b> バンク 2 を呼び出します。 * <b>Bank3</b> バンク 3 を呼び出します。 * <b>Bank4</b> バンク 4 を呼び出します。 * <b>Bank5</b> バンク 5 を呼び出します。 * <b>Bank6</b> バンク 6 を呼び出します。 * <b>Bank7</b> バンク 7 を呼び出します。 * <b>Bank8</b> バンク 8 を呼び出します。 メニュー設定を登録したバンクを呼び出します。
RS-422 PORT	PortName Pt1~Pt4	8 文字 (Def="VTR-1~4") ポート名称
	PrtclTyp Pt1~Pt4	<b>9PIN</b> VTR プロトコル * <b>Odetics</b> ODETICS プロトコル * <b>MAV</b> SONY ディスクプロトコル(MAV555/777) プロトコル選択"Odetics""MAV"ディスクソフト使用時のみ設定できます。 " MAV " は MAV555/777 を制御可能にします。
	FrameType Pt1~Pt4	<b>NTSC-DF</b> * <b>NTSC-NDF</b> フレームタイプの設定
	DF-Mode Pt1~Pt4	<b>Device</b> 機器からの TC アンサーで DF/NDF を動的に処理 * <b>Fix</b> "FrameType" の設定で固定扱い NTSC での DF/NDF 機器追従指定 一部の機器で TC アンサーの DF-bit が立たない場合のみ "DF-Mode"="Fix"とし"FrameType" を希望の選択にする

項目メモ	サブ項目	設定
RS-422 PORT	StbyOffTimer Pt1~Pt4	<b>DISABLE</b> 機能しない。(VTR 設定で動作) * 30sec 30 秒 * 60sec 60 秒 * 03min 3 分 * 05min 5 分 * 08min 8 分 * 15min 15 分 * 30min 30 分 <b>ENDLESS</b> スタンバイ OFF しない スタンバイ OFF タイマー設定 (STOP 操作時送信する) (ポート 1~4)
	StbyOnMod Pt1~Pt4	* <b>Normal</b> StandbyOn コマンドのみ送信 <b>OffTmrReset</b> Standby Off Timer の Reset コマンド も送信(SONY 機器向け) STBY ボタン(ON 時)の時指定
	StopCmdSel Pt1~Pt4	<b>STOP</b> ストップ状態 * <b>Var Still</b> バリヤブル状態 * <b>Jog Still</b> ジョグ状態 * <b>Shuttle Still</b> シャトル状態 STOP ボタンを押したときの状態設定です。
	StepCmdTyp Pt1~Pt4	<b>Normal</b> * <b>Doremi</b> Step コマンドの選択現在の所,ドレミのみ対応
	ShtlMaxTyp Pt1~Pt4	* ×4 * ×8 * ×16 * ×32 * ×50 * ×60 * ×100 * ×200 * <b>MAX</b> <b>FF/FR</b> SHTL 最大スピードの設定です。
	DvarMaxType Pt1~Pt4	* ×4 * ×8 * ×16 * ×32 * ×50 * ×60 * ×100 * ×200 * <b>MAX</b> <b>FF/FR</b> DialVar 最大スピードの設定です。

項目名	サブ項目	設定
RS-422 PORT	CueupCmdTyp Pt1~Pt4	<b>Normal</b> * <b>Doremi</b> Cueup コマンドの選択ドレミ使用時のみ設定を”Doremi” にしてください。
	CueupTcType Pt1~Pt4	<b>TC</b> パネルの TC 選択ボタン=TC 時のみ CUE 等の 登録が 可となる * <b>CTL</b> パネルの TC 選択ボタン=CTL 時のみ CUE 等の 登録が 可となる * <b>Auto</b> パネルの TC 選択ボタン=TC/CT 時どちらも CUE 等の登録が 可となる * <b>Disable</b> パネルの TC 選択ボタン=TC/CTL 時どちら でも CUE 等の登録が可となる。 CUE 等の登録 TC 種別の指定 (Cueup コマンド送信時の "TimerModeSelect"コマンド(VTR コマンド)の送信指定)
	RecStsLen Pt1~Pt4	<b>0~15</b> ステータスリクエストの時間を設定します。
	ReqTcMode Pt1~Pt4	<b>AUTO</b> VTR 設定に依存します。 * <b>LTC</b> LTC を表示します。 * <b>VITC</b> VITC を表示します。 LED 表示切替スイッチ部の TC を選んだときの表示する タイムコードを選択します。
	UbitSnsEna Pt1~Pt4	* <b>Disable</b> 機能させない。 <b>Enable</b> 機能させる。 TC 切替の U-Bit センスを許可するかしないか
	FnamSnsTyp Pt1~Pt4	<b>Normal</b> * <b>Doremi</b> Disk 機器向けの ファイルセンスコマンド の選択 (ドレミのみ対応)
	SdskRecDur Pt1~Pt4	<b>"00:00:00:00~23:59:59:29" (Def=01:00:00:00)</b> Disk 機器向けの 記録ファイルサイズ の指定 ("PrtclTyp"="SonyDisk"で MAV の場合のみ 有効)
	SdskLoopRec Pt1~Pt4	* <b>ON</b> <b>OFF</b> Disk 機器などの LOOP 記録設定。 ("PrtclTyp"="SonyDisk"で MAV の場合のみ 有効)
	RecEna Pt1~Pt4	* <b>DISABLE</b> REC を機能させない。 <b>ENABLE</b> REC を機能させる。 REC 動作を禁止するか選択します。
	LtcGenTcMod	<b>Disable</b> 何も送信しない * <b>Device</b> 機器側のメニュー設定に従う * <b>LtcReGen</b> 再生 LTC を元に REGEN するモードにする 機器側の LtcGen の Ltc 生成モード
	LtcGenUbMod	<b>Disable</b> 何も送信しない * <b>Device</b> 機器側のメニュー設定に従う * <b>LtcReGen</b> 再生 LTC を元に REGEN するモードにする 再生 LTC を元に Ltc-Ubit を REGEN するモードにする

項目メモ	サブ項目	設定
RS-422 PORT	RecLtcSel	<b>Disable</b> 何も送信しない * <b>Device</b> 機器側のメニュー設定に従う * <b>IntrLtc</b> 機器側の内部 LTC を記録する ※ 上記3項目は,機器によって動作が異なるか受け付けられない場合がある。ほとんどの場合, 全て"Disable" にして機器側で設定してもらうとするか, "LtcGenTcMod=LtcReGen","LtcGenUbMod=LtcReGen", "RecLtcSel=IntrLtc" と設定して,機器側の再生 LTC を REGEN した LTC を記録するモードにする。
	EdtPrsStsLen Pt1~Pt4	"0~7" (Def=0) "EDIT PRESET SENSE" コマンドのセンス長さ指定 ・機器側の EDIT トラック設定状態のセンス長の指定 ・ASM,V,A1,A2,DA1~8 まで(一般的な VTR) なら 設定値は2 ・現在の所, MAV の場合は 0 (センス停止) とする. (MAV 依存)
	EditInOfst Pt1~Pt4	"0~30 frame" (Def=5) EDIT-IN コマンドの送信タイミング指定 ・ほとんどの VTR は 5~10
	EditOutOfst Pt1~Pt4	"0~30 frame" (Def=5) EDIT-OUT コマンドの送信タイミング指定 ・ほとんどの VTR は 5~10 で "EditInOfst" と同値の場合が多い
	EdtOffCmdSel Pt1~Pt4	<b>Edit-Off</b> * <b>Play</b> EDIT-OUT 時の使用コマンド選択 (機器によっては,EDIT-OUT 出来るコマンドに制限があるのでその対策用)
	StopTmg Pt1~Pt4	"0~99 frame" (Def=5) Dur 付きで Play する時などに使用される Stop コマンド送信タイミング パラメータ
	StillTmg Pt1~Pt4	"0~99 frame" (Def=0) Dur 付きで Play する時などに使用される "Still"コマンド送信タイミング パラメータ ここで言う"Still"コマンドとは, Jog/Shtl/Var のスピード値を0にしたコマンド
	SycStartDly Pt1~Pt4	"0~999 frame" (Def=5) 簡易編集機能での 調相制御パラメータ ・PLAY 送信のタイミングを調整するものであり,最適値にすると, 開始後 速やかに調相完了となります。 ・デフォルト値を中心に,調相開始後 速やかに調相完了となる値に 調整する.(約 3~10 の間)

項目メモ	サブ項目	設定
RS-422 PORT	SycGradeFrm Pt1~Pt4	"0~99 frame" (Def=0) 簡易編集機能での 調相制御パラメータ ・ 調相完了判定用の調相精度の設定 ・ 特に旧式の機器でない限り 0 を指定
	SycPrm-1 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-2 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-3 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-4 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-5 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-6 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-7 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm-8 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+1 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+2 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+3 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+4 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+5 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+6 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+7 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SycPrm+8 Pt1~Pt4	"SPED=00~FF WAIT=00~FF" 簡易編集機能での 調相制御パラメータ
	SioBaudRate	"9600 19200 38400" (Def=38400) SIO のボーレート
	SioDataBit	"7bit 8bit" (Def=8bit) SIO のデータビット
	SioParity	"pn po pe" (Def=po) SIO のパリティビット
	SioStopBit	"1bit 2bit" (Def=1bit) SIO のストップビット
	SioPinAsn	"RemOut RemInp" (Def=RemOut) SIO の Tx/Rx ピンアサイン







項目名	サブ項目	設定
LAN/LINK	IpAdrs	"192:168:001:240" (=Def) PC等とLANで接続した場合に必要に応じて設定
	IpMask	"255:255:255:000" (=Def) PC等とLANで接続した場合に必要に応じて設定
	\$UnitID	"1ID 2ID 3ID 4ID 5ID 6ID 7ID 8ID" (Def=1ID) MDC50AS 自局の ID (デフォルトのまま使用してください)
	LanRspMod	<b>Disable</b> 通知しない * <b>RtStsEna</b> 周期ステータスのみ通知 (TimeCode など) * <b>OpStsEna</b> 操作イベントのみ通知 (キー操作など) * <b>AllEna</b> 全て通知 PCとLANで接続した場合のPCへのステータス通知モード PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LanRspUnt	"0~" (Def=8) PCとLANで接続した場合のPC側の UnitId. (ステータスの送り先の指定として) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LanRtryCt	"0~30" (Def=10) LAN通信での送信リトライ数 現在の所デフォルトのまま (設置先のLAN環境によっては調整の必要有り) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LanRtryIv	"0~30" (Def=3) LAN通信での送信リトライ間隔 現在の所デフォルトのまま (設置先のLAN環境によっては調整の必要有り) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LnkRspMod	* <b>Disable</b> 通知しない * <b>RtStsEna</b> 周期ステータスのみ通知 (TimeCode など) * <b>OpStsEna</b> 操作イベントのみ通知 (キー操作など) <b>AllEna</b> 全て通知 PCと1394で接続した場合のPCへのステータス通知モード PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	LnkRspUnt	"0~" (Def=8) PCと1394で接続した場合のPC側の UnitId. (ステータスの送り先の指定として) PCと接続する場合のみ必要に応じて設定
	\$LnkBusSpd	"100 200 400" (Def=400) LINK通信速度設定. 単位は bps (デフォルトのまま使用してください)
	\$LnkSchMod	<b>Normal</b> * <b>Mode1</b> 接続先ユニットの探索動作指定 (デフォルトのまま使用してください)



項目メイ	サブ項目	設定
※EXTENSION-1	P2-RecCplg	<b>“0010”</b> ポート 2 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します。 ※ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P3-RecCplg	<b>“0100”</b> ポート 3 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します。 ※ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P4-RecCplg	<b>“1000”</b> ポート 4 選択時に REC コマンドを投げるポートを設定します。 ※ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P1-PlayCplg	<b>“0001”</b> ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します。 ※ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P2-PlayCplg	<b>“0010”</b> ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します。 ※ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P3-PlayCplg	<b>“0100”</b> ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します。 ※ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照
	P4-PlayCplg	<b>“1000”</b> ポート 1 選択時に PLAY コマンドを投げるポートを設定します。 ※ディスク設定方法 (DISK ソフト使用時) 参照

※EXTENSION-1 はディスクソフト使用時のみ表示されます。

### 7.3 エラー表示

#### エラー表示①

エラー表示	内容
“CUE BANK FULL!”	CUE 登録を行なおうとしたときに、BANK バッファがいっぱいの時に表示されます。
“PLEASE CHANGE”, “DISPLAY TC” “PLEASE CHANGE”, “DISPLAY CTL”	CUE CALL, CUE, AE 機能呼び出し時に、メニューの制御 TC 選択と表示の TC 種別が異なっている場合、表示 TC の切替を促すメッセージです。
“PLEASE CHECK”, “EDIT PRESET”	AE 機能呼び出し時に、まだ、メニューで EDIT PRESET されていないときに表示されます。
“CUE-CALL”, “EMPTY”	CUE-CALL 機能呼び出し時に、CUE BANK バッファが空の時に表示されます。

#### エラー表示②

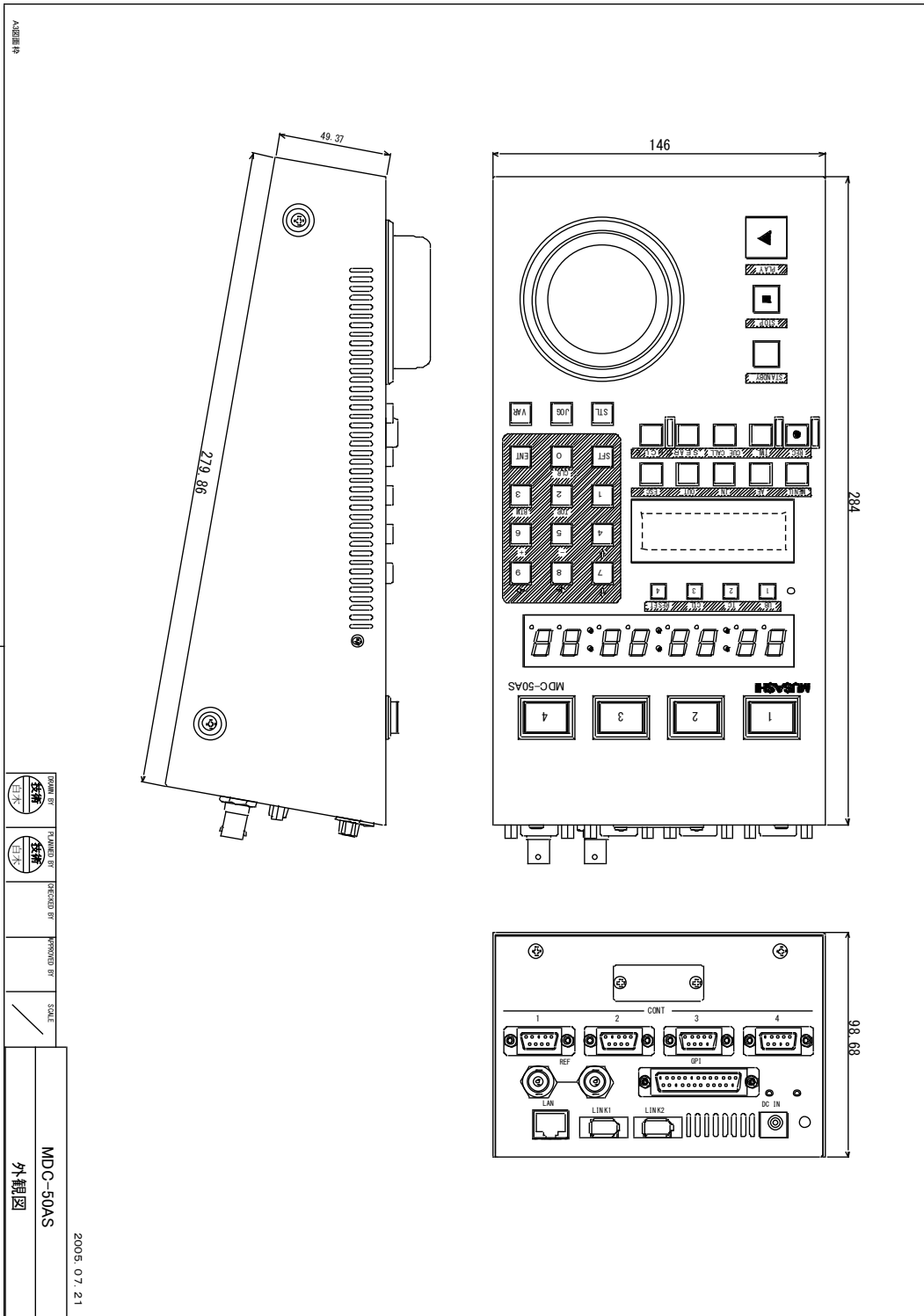
エラー表示	内容
“E0001:APLPRG Er!”	外部フラッシュメモリ上のプログラムデータの異常
“E0003:LANC Err!”	LAN コントローラの異常
“E0007:SRAM Err!”	SRAM の異常
“E0009:HWCFG Err!”	外部フラッシュメモリ上の MAC アドレスデータ等の異常
“E000A:SWCFG Err!”	外部フラッシュメモリ上のプログラムデータ等の異常
“E000B:SYSCFG Er!”	外部フラッシュメモリ上のコンフィグデータの異常
“E000C:EVDT Er!”	外部フラッシュメモリ上の CUE データ等の異常

※エラー表示②及び“SYSTEM ERROR～”のエラーが表示された場合は、メーカーまで問い合わせ願います。

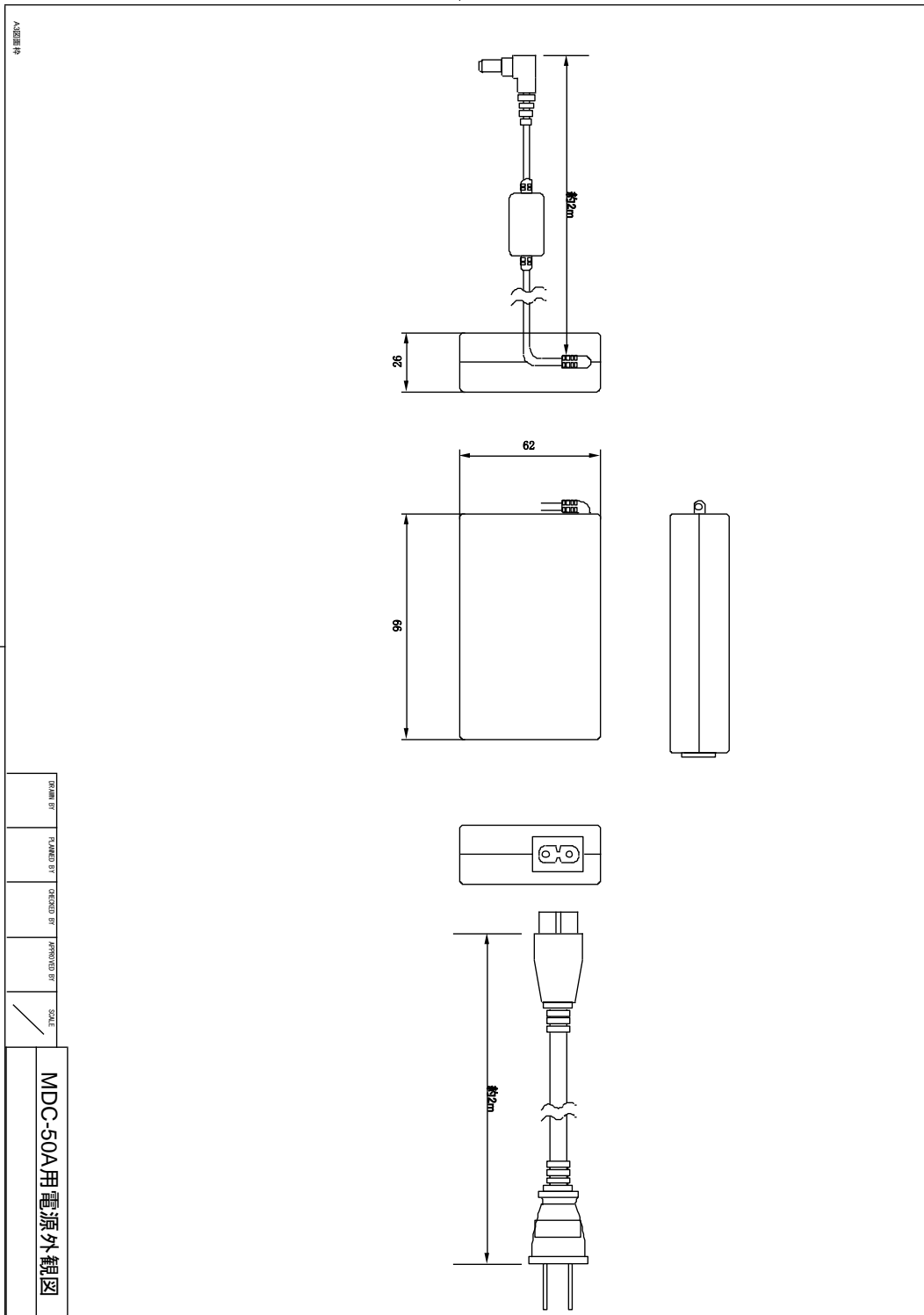
## 8.仕様

項目	仕様
RS-422 (Dsub9PIN)	4系統 (4ポート使用可能)
GPI (入出力各8ビット、Dsub25PIN)	1系統
LAN (ETHERNET 10/100base RT-45 コネクター)	1系統 (メンテナンス用)
LINK (IEEE1394)	2系統 (未使用)
リファレンス (B.B 信号、BNC コネクター ループスルー)	1系統
寸法 (mm)	146(w) x 284(D) x 98.68 奥 ~49.37 手前(H)
質量	約 2 Kg
消費電力	約 10W
電源 AC アダプター	INPUT 100-240V ~1.1A 50-60Hz

# 9.外形寸法



DRAWN BY: 佐藤 大輔  
 CHECKED BY: 佐藤 大輔  
 DESIGNED BY: 佐藤 大輔  
 APPROVED BY: 佐藤 大輔  
 SCALE: 1/1  
 MDC-50AS  
 外觀図  
 2005.07.21



※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。